

4 小麦・大豆の国産化の推進

【令和7年度予算概算決定額 35（50）百万円】
（令和6年度補正予算額 5,008百万円）
〔関連事業：共同利用施設の整備支援等 19,952百万円の内数
令和6年度補正予算額 51,000百万円の内数〕

＜対策のポイント＞
産地と実需が連携して行う**麦・大豆の国産化を推進**するため、ブロックローテーションや営農技術・機械の導入等による**生産性向上や増産**を支援するとともに、国産麦・大豆の安定供給に向けた**ストックセンターの整備**※や民間主体の**一定期間の保管**、**新たな流通モデルづくり**、更なる利用拡大に向けた**新商品開発**等を支援します。
※関連事業で支援

＜事業目標＞〔平成30年度→令和12年度まで〕
○ 小麦生産量の増加（76万t→108万t） ○ 大麦・はだか麦生産量の増加（17万t→23万t） ○ 大豆生産量の増加（21万t→34万t）

＜事業の内容＞ ＜事業イメージ＞

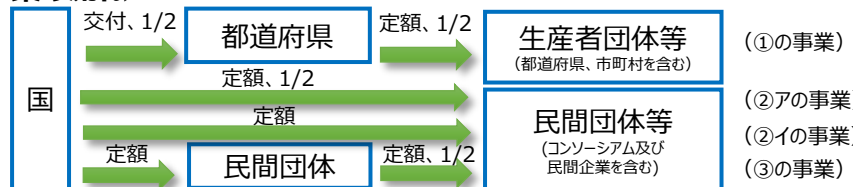
国産小麦・大豆供給力強化総合対策 35（50）百万円
〔令和6年度補正予算〕5,008百万円

- ① **生産対策（麦・大豆生産技術向上事業）**
麦・大豆の増産を目指す産地に対し、**作付けの団地化、ブロックローテーション、営農技術・農業機械の導入**等を支援します。
- ② **流通対策**
ア **麦・大豆供給円滑化推進事業**
国産麦・大豆を**一定期間保管**することで安定供給体制を図る取組を支援します。
イ **新たな麦流通モデルづくり事業**
麦の流通構造の構築に向けた**新たな流通モデルづくり**を支援します。
- ③ **消費対策（麦・大豆利用拡大事業）**
国産麦・大豆の利用拡大に取り組む食品製造事業者等に対し、**新商品開発**等を支援します。

（関連事業）
強い農業づくり総合支援交付金 11,952百万円の内数
新基本計画実装・農業構造転換支援事業 8,000百万円の内数

〔令和6年度補正予算額〕40,000百万円の内数
産地生産基盤パワーアップ事業 〔令和6年度補正予算額〕11,000百万円の内数
産地と実需が連携して国産麦・大豆の取扱数量を増加させる取組を推進するため、増産に資する**乾燥調製施設の導入**、不作時にも安定供給するための**ストックセンターの整備**、国産麦・大豆の利用拡大に向けた**食品加工施設の整備**や**再編集約・合理化**等を支援します。

＜事業の流れ＞



1. 生産対策



営農技術の導入
（定額）



農業機械の導入
（1/2以内）



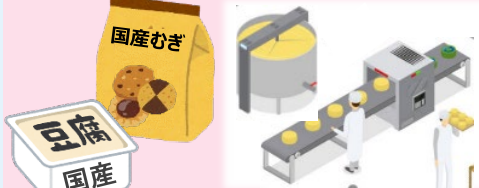
乾燥調製施設の整備※
（1/2以内）

2. 流通対策



・ストックセンターの整備※（1/2以内）
・一定期間の保管（定額、1/2以内）

3. 消費対策



・新商品の開発（定額、1/2以内）
・加工設備・施設の導入※（1/2以内）
※関連事業で支援

麦・大豆の国産化を一層推進

〔お問い合わせ先〕
①、②ア(大豆)、②イ、③(大豆)の事業 農産局穀物課 (03-6744-2108)
②ア(麦)、③(麦)の事業 貿易業務課 (03-6744-9531)